平新報

發行日毎月三回五ノ日發行
編輯兼發行印刷人　山野邊庄吉
發行所　福島縣平町南町七七
平新報社
廣告料五號十二字一行一回五十錢　掲所指定倍增
送料定價共一部金十錢

縣議改選を控えて
有權者數と運動費其他

福島縣會議員改選は九月二十五日である。石城郡は定員六名何人が立候補するか今日豫斷を許さぬがそれが運動費や其他の豫想を紹介する、他郡は兎に角石城郡は、一人當り運動費二千三百九十六圓、運動員拾五人ノ選擧事務所數は二ヶ所である、次に各町村有權者數は左の如くであつて今回區制廢し本郡有權者總數三萬四千八百三十三人である。

石城郡の部

町村名	有權者數
泉村	七四七人
渡邊村	四〇五
植田村	九二六
山田村	六三
錦田村	六七
勿來町	八二
上小川村	八六
入遠野村	三九
川部村	一五
上遠野村	九一
遠野村	六〇
來組合	八七
平野村	八五
飯野村	六四
夏井村	一五
豐間村	九〇
江名村	三、六六〇
高久村	一、五四〇
泉村	一、四四〇
玉川村	一、六八六
大浦村	一、五八三
大野村	一、三八七
草野村	一、六一一
神谷村	一、五九〇
渡邊村	一、七八七
須藤三郎	一、一八八
積彌	一、一四七
山形高等學校	二七
村山七郎	二七
弘前高等學校	二六

尚ほ本縣內各郡別の有權者數と有動費と其他の件左の如くである。

有權者數

郡名	議員定數	有權者數
信夫郡	四人	一五、〇三一人
伊達郡	三	一九、九三一
安達郡	三	一八、五四一
岩瀨郡	二	一〇、九七一
南會津郡	一	八、四三七
北會津郡	一	七、五三〇
耶麻郡	二	一〇、六八〇
大沼郡	二	一〇、〇三四
河沼郡	二	一〇、四九〇
東白川郡	二	八、四〇三
西白川郡	二	一〇、八三三
石城郡	二	一〇、四三三
田村郡	二	一、九八一
相馬郡	二	一、九一四
福島市	一	六、四九九
若松市	一	七、〇四〇
合計	四一	一七、八九一

◆運動費其他

郡名	一人當運動費	運動員	選擧事務所數
信夫郡	三、〇〇四円	一五人	二
伊達郡	二、六三一	一五	二
安達郡	三、四二六	同	同
岩瀨郡	二、一九四	同	同
南會津郡	三、三七四	同	同
北會津郡	三、〇〇八	同	同
耶麻郡	二、七三〇	同	同
大沼郡	二、四七四	同	同
河沼郡	二、三六〇	同	同
東白川郡	一、八六〇	同	同
西白川郡	二、五四三	同	同
石城郡	二、六五七	同	同
田村郡	二、三三〇	同	同
相馬郡	二、七三六	同	同
福島市	二、三七四	同	同
若松市	二、四五〇	同	同
合計	二、八九二	一五	二

赤堀氏作品展覽會
今秋平町に開かる
平地方の其品の持主の人々

平町國府田直良氏の實弟赤堀信平氏は世間周知の通りはその人の眞精神に入つて帝展に數度入選し、今や無鑑「審」査の新進青年彫刻家であるが、同氏の作に成る藝術品は平地方にどれだけ頒布されて居るか、その主なるものを記して見るが氏は今秋それ等の既製頒布品を借りて、尚ほ帝都より新舊作を持參して展覽會を開催する予定であると。氏は常に曰く

「私は殊に人物像に當つてその人になつた氣持でやります」と此一言氏の今日大成せるを推して知るべきであらふ。

◎回銅像
諸橋久太郎氏座像
山崎與三郎氏胸像
故緣川佐伯氏胸像
阿部乙三郎氏座像
故酒井勇次郎氏胸像
金子角藏氏座像
未成品

度量衡檢査に付注意
提出せぬと所罰さるべし

福島縣度量衡檢定所長　地方商工技師　増田義夫

本十五日より左記日割に基き石城郡內平町外三ヶ町を除く各町村に於て、度量衡器第一種取締檢査執行のことに決定したるが最近他町村に於て執行の實績に徵するに、當然右檢査に提出受檢すべき度量衡器の提出を怠りたる爲所罰せられたる者尠からず、殊に相當社會的地位を有する者より如斯違反を出せるは甚だ遺憾とする所なり。

由來　度量衡器の取締には第一種取締と第二種取締の二種ありて來る十五日より執行する第一種取締は取引上又は業務の如何を問はず、取引に非ざるも一定の事實の表明に關し用ゆる所謂證明上に使用する器物を一定場所に集め、これを檢査し如何なる不正器と雖所罰することなく單に不正器を排除し、これより生ずる犯罪と使用者自身の物質及信用上の損失　豫防に努むるを主眼とするを以て、一面より之を見る時は使用者自身の爲、行ふ檢査なるに不拘受檢者中には未だ此の趣旨を曲解し、前回の檢査を受けざりし爲又は結紐等の不正なるが爲提出するに於ては所罰せらるべしと誤信し又は商取引上に使用すべき物のみ受檢すべきが如く思惟し、農業其他各種業務者に於て度量衡器を洩れなく提出の上檢査を受くるが安全なる

日常　廣く例し〳〵と稱し使用し居る大部分は前述の證明上に該當し居る以上は法規上違反たるべきに從來此の種の器物を提出せざりし爲、所罰せられたる者多かりしを以て此の點特に注意しよく役場吏員及警察官吏の注意を守り所持する

檢査期日

檢査區域	檢査期日
川前村	九月十五日
上小川村	十六日
大野村	十七日
大浦村	十八日
草野村	十九日
神谷村	二十日
夏井村	廿一日
豐間村	廿二日
高久村	廿三日
飯野村	廿四日
平窪村	廿五日
赤井村	廿六日
同	廿七日
永戸村	廿八日
簑輪村	九月十九日
石住村	貝泊村
澤渡村	九月二十日廿一日
三阪村	上遠野村
好間村	九月廿二日
川前村	九月七日八日
磐崎村	九月五日　六日
江名町	九月　九日
玉川村	九月　十日
鹿島村	九月十一日
泉村	九月十二日十三日
渡邊村	九月十四日
山田村	九月十五日
植田町	九月十六日十七日
錦村	九月十八日
勿來町	九月十九日
川部村	荷路夫村
田人村	同
鹿志村	同
岡本村	二五
忠義村	鯨岡
佐藤晴清	同
政一	丸山
農業大學	河野
體操學校	同
師範學校二部	廣平
計	二七
日本大學齒科	二名
日本齒科醫學專門學校	二名
高千穗高等商業學校	一名
農業大學	一名
體操學校	一名
師範學校二部	一名
計	七七名

御願ひ

本社又は小生へ文通は甚だ恐縱ながら平町二丁目佐野屋旅館宛に御願ひ申し候

平新報社　山野邊庄吉

舊名　庄吉

廣告欄

▲故大越兼吉中佐
回木彫像　加藤政久氏　座像
岡田長太郎氏　仝
回作品木彫
諸橋久太郎氏所有
氏の帝展初入選作
題名　御燈四尺五寸
山崎與三郎氏所有
木彫　唐美人　尺八寸
草野順平氏所有
題名　想ひの絃
高サ二尺　外數點
▲坂本隆藏氏所有
釋迦座像　外數點
▲白井博之氏所有
裸体像一尺二寸
外に孔子像　銅像

▲小野晉平氏約束
▲中野甲藏氏
鍾馗一點　尺二寸
△川前佐藤三郎氏所有
木彫　魚籃觀音　尺四寸
△麿崎貞衛氏所有
獅子　木彫
△明智淺吉氏所有
布袋
△青沼鋒太郎氏所有
鐘馗
△大森　勇氏
觀瀑
△酒井國三郎氏
布袋踊り
△川前永山德一氏
孔子の像　木彫
外契約中の拾點
× × ×

(七)

二七　白井武夫
二六　若松哲雄
二五　永井元康
二七　小口哲
同　岡田藤二郎
同　鹿志村保二
北海道帝大豫科　二七　草野茂
同　二六　若松哲雄
同　二五　山本五郎
東京商大專門部　二七　星定三
同　同　定三
横濱高等商業學校　二六　白土大三郎
小樽高等商業學校　二七　福島高等商業學校　草野仁太郎
同　二七　草野
同　同　大平秀之助
高岡高等商業學校　二六　小港正
小樽高等商業學校　二六　赤津道夫
東京高等工業學校　二五　吉田操
秋田鑛山專門學校　二六　奈良一
盛岡高等農林學校　二五　蘭部正敏
東京高等商船學校　二五　渡邊長雄
北海道帝大專門部　二六　鈴木福太郎
陸軍士官學校　四、修　川瀨博三
東京美術學校　二二　松永隆
東京音樂學校　二五　中野篤親
臨時教員養成所(仙臺)　二七　加藤利貞
同(廣島)　二六　小島新十郎
滿州教育專門學校　二七　猪狩吉隆
同工業專門學校　二五　佐藤晴清
慶應大學豫科　二七　岡本忠義
同　二五　鯨岡政一
同　同　丸山昇平
同　同　河野廣
同　同　鹿志村保二
日本大學豫科　二六　草野周一
同　二六　三井五郎
同　二六　小野塚量
日本齒科醫學專門學校　二七　松本治郎
同　二六　高木寛
同　二六　松本政夫
同　吉田巖功
同　二四　國府田
豐島師範學校二部　二七　內野常雄
青山師範學校二部　同　阿部廣司
同　同　江尻濟
茨城師範學校二部　二七　柴崎茂平
東京農業大學　二七　丸山三郎
計　七十七名
右を學校別に統計に示せば左の如く
高等學校　一七名
北海道帝大豫科　三名
商科大學高等商業學校七名
高等工業鑛山專門學校二名
高等商船帝大專門部農林學校　三名
士官學校　一名
美術音樂學校　二名
臨時教員養成所　二名
慶應大學　五名
早稲田大學　四名
明治大學　一名
國學院大學　四名
青山學院　三名
拓殖大學慈惠院醫科大學　三名
慈惠院醫科大學豫科　二名
同　二五　鶴岡敏夫
明治大學專科　二六　條介
國學院大學　二七　西壁
同　山野邊武
同　下山田勸
同　高秋文夫
青山學院　二七　佐藤俊男
同　二五　小林七郎
同　二三　中柴光泰
拓殖大學　四、修　助川新次
慈惠院醫科大學豫科　二七　谷口孝雄
同　二六　草野周一

日本石油株式會社特約店
營業課目
內外機械油　發動機用油
色油類各種
度量衡器
カーバイト
コールタール
石油乳劑
平町二丁目
清閑內油店
關內正一
電話長十六番
油槽所　福島縣平町田町四〇番　電話六
支店　茨城縣多賀郡關本驛前　電話平潟三十七番

綠蔭の散策
湧溢せる温泉
磐城温泉旅館
松柏館
電話五番
本町

高久病院
平田町　電五一三番

植田町
森合齒科醫院
森合芳男
本町

內科、小兒科、皮膚科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

平町南町
與田外科醫院
電話一二九番

動脈硬化症、腦溢血特効劑
青山麻
中風靈藥　定價　二週分一、七〇　三週分二、五〇　五週分四、〇〇
本劑は、家傳靈藥にして頗る賣行盛んなり。難病と稱せらる中風症の根治せる實例幾多を以て、其眞價の偉大なるを立證せり。試みに二週分の服用を勸む
代理店　山野邊藥局　平町五丁目角

□農業だより
一、牛田式　噴霧器　各種
一消　毒　藥　各種
一カネ印除虫粉特約代理店
理化學研究所製デリス原藥
ネオトン　特約代理店
一　石灰窒素肥料
平町二丁目　電話長三番
西村屋藥舗

平和削節製造發賣元
海陸物產問屋
常磐線湯本驛前（磐城屋號）
鈴木道太郎商店
（振替東京六一二〇一）
◎最上鷄の餌（魚粉）

涼しい夏の洋服!!!
ラーミー　上下組　三圓五〇ヨリ
ポプリン　仝　三、五〇ヨリ
黑セル　上衣　七、五〇ヨリ
アルパカ　仝　四、八〇ヨリ
上等パンヒスズボン　三、五〇ヨリ
白セル　仝　四、五〇ヨリ
各種豐富荷揃
平町二丁目
なかや洋服店
電話二〇三番

八月十五日ヨリ
秋向セル地大陳列會
各產地が競ふて發表する今秋の新柄優秀品豐富に取り揃へて陳列——。
平町三丁目
中野吳服店
電話六七番

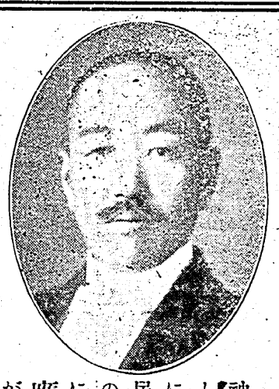
◉麥茶冷し
農村でも盛夏、井戸のなかへ入れておけば氷位に寒冷になつて居ります
定價　壹圓八拾錢

良品廉賣に勝る商略なし
確實敏捷は久の生命なり
營業課目
鑛山用諸機械　銅鐵材板硝子　鍋釜類食器具
輕銀珐瑯製品　特選スコップシヨベル釘針金
亞鉛枚　金庫度量衡器　農工具打及物磐城セメント
ボールトナットバルブ　消火揚水卿筒
土木建築金具　坂本式ベルト　國產工具用鋼
スパイキコック類
平町五丁目
久釜屋商店
振替貯金口座東京一〇九五六番
電話長九番　一三九番
◎品質優良價格最底在庫豐富ニ出荷ノ迅速ト現金取引ハ弊店ノ五大特色ナリ

活躍希望

賞讃すべき柔道有段者會

元磐城中學校長　桐谷一文平



柔道有段者會

は疾くに生れ出づべきであつて今回の役員諸君等には長き腹案であつた樣である私は一日も早く生れることを希望して居た一人であるので、今回の誕生は此上なく喜ばしかつた。もとより此會員の全部が磐中出身といふわけではないが、大部分八九分通りがそうであるから殆んど同窓の意圖によると認めて差支あるまい。殊に本會が柔道の技術よりも精神作興志氣鍛錬とか精神的方面に重きを置いて居る點が嬉しいのである。此點については曾て鷹崎君が、多分本紙上であると記憶するのだが盛に論じられた、即ち武道の眞精神は古への所謂武士道に學ぶ所がなくてはならぬ元より、武士道は全然今日の武道とするわけには行かぬけれども、其純眞潔白卑劣卑怯をあくまでも排斥し勇敢と正義と所謂　詔書に仰せられたる剛健の精神を養成するにあることは鷹崎君の反復説かれたところである。

武士道皷吹

最早十年以前のことなるべし時の政府は民力涵養てふことを高唱して、國民志氣の振興國力の充實を圖らんとし、今の民政黨顧問其當時の內務大臣たる床次氏は色々行つては見たけれど中々實績の擧らぬ所から、不圖一策を考へ、彼の忠臣義士を讃物とする浪花節の宣傳は國民志氣の作興に効果ありと思ひつき、當時浪界の大立物たりし雲右衛門を後援して長時間を費したことであつた。終りに尙私は問を發して福嶋縣殊に石城地方のみならず社會人心問題に深入しして福嶋縣殊に石城地方の所では恰も此節飲み惡ひらざる事業は容易に發達すして國民精神の振興を圖らんとする計劃に共鳴するものであるが、地方には其人に實演され講演もされた。來賓に對しては記念品や畫食も配布され、而して實演講演の後の慰勞會費位は浮くことは困難で、九[illegible]三の友人を[illegible]答へ[illegible]と云へないが知人等より聽面よりは入るまい、何れにしても困難な事である云々

社會教化事業

に從ひ居る一友人が突然拙宅を訪問せられて人心作興に關する談話を交換した事があるが、該友人は地方人心の差異等に關しても常に注意して居る人で私の病狀にの氣分に伴ふ各種の弊害をの推想を雜へて想像するに模樣の變つて居る所の樣で事が多かつた。談に興味が入り力が入つて、私は其後れで今回

柔道有段者會

の誕生には少からず希望をかけ、愈々其發會式と云ふの で一面には嬉しくもあつた

發會式

には東京ざる人で其方面に研究淺からたので互ひに興味のある事として思はず識利を目的とせざる又すべかを考へる風があると聞く、夫程に人心が軟弱になつてるは云へないが知人等より聽面よりは入るまい、何れにしても困難な事である云々

武士道皷吹

最早十年以前のことなるべし時の意して居る人で私の病狀にの氣分に伴ふ各種の弊害をけであつた。しかし精神的

磐城講道館有段者會

十六日より講習會二十二日は審査會

本年六月拾二日平町平劇場に於て嘉納師範一行を迎へて發會式を揚げた、諸橋守次氏を會長に戴く主に磐中出身柔道有段者濱三郡に會員を有する磐城講道館有段者會は其後後始末等にて荏苒默して居つたが、明十六日より磐中柔道場に於て講習會を二十一日迄催し二十二日は審査會を執行するり評議員の縣議草野順平、事となつた、審査を受ける新田目春松兩氏の出席あり希望者は同會副會長たる磐中教諭橋本芳太郎氏宛磐中申し込まるべしと。因みに同會は二段迄審査をなし得る事になつて居る又日時の都合上同會員一同の亂捕り其他の一般公開實演をなすやも知れずと。

同窓會總會

磐中一窓會總會は例年の通り去る拾日母校に於て催され第一回卒業生たる上海東亞同文書院、中華學生部長坂本義孝氏、母校教諭山崎宣吉氏、客員として唐土校長の挨拶等あり唐土校長の挨拶等あり評議員の縣議草野順平、新田目春松兩氏の出席あり希望者は同會副會長たる磐中教諭橋本芳太郎氏宛磐中申し込まるべしと。因みに同會は二段迄審査をなし得る事になつて居る又日時の都合上同會員一同の亂捕り其他の一般公開實演をなすやも知れずと。

同窓會總會

磐中一窓會總會は例年の通り去る拾日母校に於て催され第一回卒業生たる上海東亞同文書院、中華學生部長

一八會例會

磐中拾六回卒業生を以つて成る二八會例會を去る十二日夜平町料亭谷口に於て開催した、當日は舊盆十五日のため實は磐城名物たるジヤンガラ念佛が平に在るは當日のみであるので會員中よりその希望ありたるため[illegible]盆其他[illegible]中故の[illegible]不參加者多かり[illegible]遺[illegible]あつた。因みに當日の出席者は

磐同窓會

（八）

○客員として舊恩師
山崎宣吉　遠藤平太
中根松次郎　の三先生
○植田町　森合芳男
○湯本町　比佐榮一
鯨岡久一郎
○花卷稅務署勤務にして歸省中であつた　鈴木義達
同じく安達中學勤務中にして歸省中であつた　岡田朝五郎
○平町　諸橋元三郎
關內正一　山野邊眞立序
でながら當日不參加者會友の挨拶理由と動靜を記して見るが當夜左の三氏は左の如き祝電を寄せた。
○遙かに諸兄の健康をいのる　佐藤績
困みに氏は信濃町の日本紙業會社に勤務中である、出身本郡澤渡村下市萱
○遙かに諸兄の健在を祝す　長瀨元治郎
因みに氏は工學士にして平町二丁目長瀨延太郎氏の令弟である。
○御紙と皆さんの健康と盛會をいのる。宮古町　山野邊久利
氏は平町出身宮古町稅務署勤務である。
不參加者理由と動靜
十田原良理　國民新聞記者八王寺市大橫町二二
吉田義男「平町新川町」
盆に付遺憾乍ら出席致兼ね候
佐々木馨吾「北海道留萌町留萌病院」
乍遺憾欠席仕り候
高野增藏「平町新川町」
勤務の都合により缺席
新妻一郎「福島市腰の蚕霞內十一」
小生兼ねて此日來るを待ち居り候も本月十日より三週間若松聯隊に後備召集を仰せられ甚だ遺憾乍ら出席する事能はず候條會員諸氏によろしく御願ひ候　草々
桐谷文平　先生

折角の御招待何と[illegible]有存候、二八會々員諸君には是經るゝ時がありますまして生と二三の子供達と留守致候時々通報を待ち居る次第につき折角の好機會なれど失禮候問會員諸君に可然御傳へ願度候
諸君の御健康を祈り申候
小野保「植田町」
遙迄店の用事で舊盆を利用して東京へ行く[illegible]甚だ[illegible]心持ですから面談の[illegible]
大越新「福島市人[illegible]」
大越久「會津若松市第二十九聯隊」
飲　席
藤村千尋「熊谷驛」
御手紙有難御座います殘念ながら六日午後四時に配達[illegible]りましたので八日頃出[illegible]心持ですから面談の[illegible]
[illegible]久保[illegible]「內郷村」

炭會社」
拜啓前略、小生も是非出席致度存じ候へ共本年は父の新盆につき出平なしかね候何卒御會席の皆樣へも貴兄よりよろしく御傳言被下度願上候
大野元「上遠野村」
世話になりばなしで居まして、ほんとふに心に濟まないのですがまあ當分はかんべんして下さい、切角の御通知をうけましたが今或仕事にのりかかつてゐますので己むなく缺席するより仕方ありません、殘念ですが然しいづれ折を見て今度こそは三十男らしい御訪ねを致します
生活の過度期に於ける心と行動はともすれば刹那的になれど遠路出席致兼候間惡からず御了承願上候
尙會友諸兄にも宜敷御願申度併て盛會ならんことを希望して止まず候
松本昌光「東京府下碑衾町碑文谷百拾七」
拜啓折角の御催しに出席致し兼ねるのが誠に殘念に思はれます、御出席の諸兄へよろしく御傳言被下度候
鷲清章「東京府大崎町桐ケ谷二七六」
折角の御催しなれば出席致し度き勤務の關係上歸郷する事が出來ません爲缺席の由である

磐城炭礦　缺　席
志賀與市「平五丁目」
缺　席
新妻恭孝「草野村原高野」
拜誦弟の新盆にて多忙の爲缺席仕り候間皆々樣に不惡御願申上候　敬白
鯨岡潔「湯本町」
事故あり缺席の見込御盛會を祈り御勞を謝す
長瀨元治郎
東京府下大崎上大崎二四八
鐵道官舍第五號
盛夏御自愛祈上候
佐藤績
東京府下高圓寺九〇八
其後の御無音平に御容赦下度今回は折角の御案內なれど遠路出席致兼候間惡からず御了承願上候
尙會友諸兄にも宜敷御願申度併て盛會ならんことを希望して止まず候
大越久「會津若松市第二十九聯隊」
席
藤村千尋「熊谷驛」
御手紙有難御座いますながら六日午後四時に配達[illegible]ましたので八日頃出[illegible]心持ですから面談の[illegible]
[illegible]久保[illegible]「內郷村」

止むなき次第です、皆樣によろしく御傳ひ被下度願ひます御盛會を祈り居ります
鈴木久義「相馬郡中村町」
缺　席
不在の爲他の會友よりは返信なく動靜不詳

眞立記

小林讓三郎氏「磐中第十五回卒業生」の氏は今回星社を辭し泉村に歸省中とか
野崎喜八郎氏「第十二回卒業」の氏令兄の平自働車商會の事務に當る事となり南町の其社に執務して居る。
荒川精一氏「第十回」
永山勇吉氏「十五回」の兩氏は十三日會主催の講演會に去る十三日夜平銀樓上に於て講演をなし同夜は兩氏の歡迎會を催した由である

十八回クラス會

木村寺江　新妻喜男君等磐中十八回卒業生會友は二十日平町に同級會を開催する由である

夏井村夏期學校終了

既報夏井村夏期學校は無事終了し去る十一日午前八時より、魂まつりを兼ね、閉校式を擧げたと

活耳目

山野邊眞立

八月五日の平新報を見て實に憤慨仕り候、學友諸君の熱力なる盡力に依り漸く擡頭せんする君に對し迫害的行爲をするとは何事か、私は當町及び近村大野、大浦愛讀者の意見を聽取したる所表裏なき君の言論は何人も信ずる所にして相手が排戰すればする程君に對する同情は翕然と集る次第に有之候、私も其內參上仕るべく正々堂々自已の信ずる所に向つて猛進せよ

八月七日

四倉町愛讀者

平新報　山野邊眞立兄

◎馬目雅治君が越の家事件に對し大半事實と相違せるを報せしに對し、關係者としてその眞相を報ずる予定なりしが、馬目氏が調査氏に訂正するとの事につき同氏に讓る事とした。

御紙大いに勇氣あり拾巴一からげの三文とろを相手に喧嘩するよろし
最後は正義の勝利なり飽くまでやつつけろ
やがて仲裁が出るかも知れぬ、ノザマンやその一黨が何かするかも知れぬ安價なダキヨウは御紙をサゲるものなり、負けるな〳〵飽くまで闘へ……
御紙釜屋、關內新聞なら彼等はノザマン新聞たり
小田新聞ならずや

平町一青年

山野邊先、原文ノマヽ、右の如き激勵續々來りて闘心を唆るあれども筆者初めより、防衛上より出でたる筆戰であつて對者にして筆を止むれば介在者あらふとあるまいと尊い紙面は私せざる心算であつた。
然し今回對者、鈴木昌雄君及鈴木君の筆者に對する侮辱文を一面割いて掲載せる金古政通君の三者に對する筆戰は身命を賭して闘ふ決意をなせども鈴木君が筆を止むるとの事につき筆者も同君が再び挑戰せざる以上當分休戰する事としましたから讀者諸君あしからず御諒認下さい

新川柳

佳句

池上富水
挨拶を後ろへはふる洗髮
永山徐花郎
洗髮　歌磨ーねらはれそうな
須磨子
洗髮妹女らしく見え
佐々木あきら
洗髮すんでナイスの世話になり
梅香
洗髮落ちる抜毛を淋しがり
佐川滿壽莊
洗髮蟬の鳴く樹に倚りかゝり
綿引東天紅
洗髮が搖れ抱いた子をあやせば次點
佐川有頂天
洗髮丸めて妻に陽のかげる
高點
新島新坊
遠出畚宿の或る日を洗髮
自句
選者
手ざわりに追憶のある洗髮

魚籠の發表は選者の都合に依り次號に發表する事になりました。

新川柳募集
課題（海岸）（疲）
各題五句吐
雜吟投稿歡迎
メ切八月三十日限り十句以內
投句所　平一丁目二〇
綿引東天紅宛

祝平新報參週年
豐間村
大敷事務所
高久村役場吏員一同
村長
永山德一
川前村
贊援磐中同窓活躍號
夏井村如來寺住職
十四回
鈴木積善

暑中御伺
平町二丁目「電參」
西村屋藥舗
四ツ倉町
新妻盛